



# 事業概要【SAGAの未来を支える担い手確保プロジェクト】

旧制度（推進）

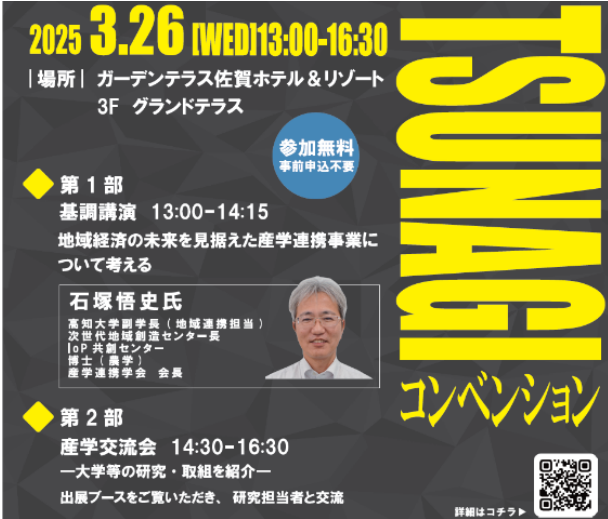
申請者	佐賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	293,892千円 (120,308千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・都市圏から、人の呼び込みを図る ・佐賀の産業を支える担い手の確保を図る ・地域づくり、地域活性化への支援を図る		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○佐賀県における暮らしや仕事の情報に一元的に触れられる移住フェアの開催（委託料等）9,290千円</li> <li>○佐賀県から若者の人材流出が多い都市圏において、佐賀の仕事、暮らしの素晴らしさを伝える相談会を開催（負担金）17,992千円</li> <li>○地域における新規就農者の支援体制の構築を図りつつ、幅広い就農ルートから数多くの新規就農者の確保、定着を支援（補助金（協議会等組織））等 5,622千円</li> <li>○農業への企業・法人等参入への理解醸成、参入候補となる農地情報の整理、企業・法人への情報発信（委託料）等 4,496千円</li> <li>○労働力確保支援のための体制整備、農福連携の定着・推進や外国人材活用の推進など多様な人材の活用促進（補助金、委託料）等 3,438千円</li> <li>○県内工業系高校生などを対象に、建設業の出前講座や体験会、魅力発信の実施（報償費、費用弁償、需用費、負担金等）等 28,342千円</li> <li>○経営の高齢化などの課題がある県内中小企業等の円滑な事業承継を実現するための情報発信の実施（委託料）等 22,090千円</li> <li>○中山間地域の集落や産地等が主体的に行う「農業・農地を守る取組」、「農業所得を向上させる取組」「地域の活性化に向けた取組」に対して支援（補助金（市町））等 20,624千円</li> <li>○精力的に地域づくり活動を実践する人材（ローカリスト）や地域づくりに興味のある人（ネクストローカリスト）が交流するワークショップの開催等により地域づくり活動のきっかけを創出（委託料等）8,414千円</li> </ul>		 
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①他都道府県からの移住者数（+84人）</li> <li>②しごと相談室を通じたUJIターン就職者数（+8人）</li> </ul>	関連URL	（交付金の具体的用途・実施体制）調整中（効果検証） <a href="https://www.pref.saga.lg.jp/kiji03100298/index.html">https://www.pref.saga.lg.jp/kiji03100298/index.html</a>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


# 事業概要【未来創造型のチャレンジ研究を主軸とした大学連携推進事業】

旧制度（推進）

申請者	佐賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	231,472千円（104,918千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>大学との連携を早急に強化することにより、佐賀県の施策を効率的に進める上で県が抱える課題やニーズに合った技術研究として、県民の安全・安心な地域づくりや産業の振興などにつながるだけでなく、そこで培われた新たなシーズが民間企業との共同研究や事業の実装に発展して新たな産業を生み出す。</p> <p>また、これらの地域貢献や地域課題の解決に資する取組を県内外へ幅広く発信していくことで、進学希望の高校生などにとっての高等教育機関の魅力向上、県内高等教育機関をハブとした若年層の活躍の場の拡大、キャリア向上を志す若者の佐賀への定住促進などに繋がり、県内高等学校から自県大学への進学率の向上にも寄与していくことを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	1 佐賀大学等との連携事業の取組 ○令和5年度からの継続事業 8件程度 ・県提案型 3件程度 12,453千円 ・学内公募 5件程度 19,748千円 ○令和6年度からの継続事業 8件程度 ・県提案型 2件程度 9,093千円 ・学内公募 6件程度 17,206千円 ○令和7年度新規事業 14件程度 ・県提案型 5件程度 12,510千円 ・学内公募 9件程度 20,601千円 2 コンベンションの開催（委託料等） 13,307千円		
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①県内高等教育機関との連携事業数（延べ新規取組）（+39件） ②本申請事業を通じた研究テーマの本格的な社会実装や事業化、若しくは産学官連携等に着手した件数（+2件） ③県内高等学校から自県大学への進学率の向上（+2.3%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中  （効果検証） <a href="https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00310029/8/index.html">https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00310029/8/index.html</a>

# 事業概要【文化芸術に新たな息吹を吹き込む佐賀さいこうプロジェクト】



旧制度（推進）

申請者	佐賀県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	219,226千円（71,288千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>少子高齢化が進む中、地域に活力をもたらすためには、交流人口を増やしていくことが重要。佐賀の豊かな歴史的、文化的な魅力は、移住者や観光客を引き付ける大きなポイントであることから、これらを磨き上げることで、その素晴らしさを県民のみならず広く全国に発信し、地域づくりの根本となる故郷への誇りや愛着、郷土愛を育み、ひいては交流人口を増やし佐賀のまちに活力をもたらす。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○県内各地で行われている伝承芸能を“かっこいい映像コンテンツ”として広く情報発信するとともに、新たに取材・撮影して映像コンテンツを制作することで、地域の誇るべき宝として次世代に継承していく気運を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像制作、配信（委託料）6,372千円</li> </ul> <p>○県内で開催する文化芸術事業を公募し、アドバイザーボードによるアドバイスやネットワーク支援等の磨き上げを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスや公演の開催（委託料等）39,684千円</li> </ul> <p>○公の施設の一体的なブランディングや磨き上げを行うための戦略やコンテンツを制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランディング戦略、コンテンツ制作等（委託料）25,232千円</li> </ul>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額総額（+25.3億円）</li> <li>②観光宿泊者数（+5.8万人）</li> <li>③博物館施設等の来館者数（+2.05万人）</li> <li>④公の施設の来館者（利用者）数（+4万人）</li> </ol>	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中</p> <p>（効果検証）</p> <p><a href="https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html">https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html</a></p>

# 事業概要【～社会増加県へ～ 子育てし大県“さが”×

旧制度（推進）

## DI人材育成・地元循環モデル構築プロジェクト

申請者	佐賀県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	173,994千円 (59,142千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>本県独自の教育プログラムを開発、新たな価値を創造する学びを提供することで、佐賀から産業を変革するデジタルイノベーション人材（以下「DI人材」という）が、佐賀で活躍するDI人材の地元循環モデルを構築し、社会増加県を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>SAGAハイスクールDI人材育成事業 「DI SCHOOL SEIRENKATA」 ○佐賀県DI人材育成事業 地元企業・大学・高等専門学校連携によるDI人材育成プログラムの開発を行い、高校生が「SAGA DI（デジタルイノベーション）Lab」において伴走コーチとともに、DIカリキュラムを学ぶことで、県内のDI人材循環モデルを構築するプログラム制作等を行う 委託料等 56,831千円</p> <p>○佐賀県高校生DI選手権大会開催 高校生がLabで学んだデジタル技術をもとに成果発表や知識・技能を競う「佐賀県高校生DI選手権大会」を開催する 委託料等 2,311千円</p>	<p>&lt;DI人材の育成&gt;</p> 	<p>&lt;高校生DI選手権大会&gt;</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のUIターン数（+585人） ②SAGA DI Lab参加者数（+150人） ③初年度に受講する「ベーシックプログラム」の修了者数（+135人） ④当該事業修了者の情報系の高等教育機関への進学者数・情報系職種への就職者数（+40人）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中  (効果検証) <a href="https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html">https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003100298/index.html</a>

# 事業概要【むしろこれから 鹿島・太良プロジェクト】

## ～唯一無二の地域資源とローカル鉄道を活用した有明海沿線広域連携スローツーリズム推進～

申請者	佐賀県ほか 2 自治体※				初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R11年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,514,443千円 (158,985千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・有明海沿線の鹿島・太良エリアを一体的にブランディングし、本物の地域資源をゆっくり、じっくり味わう“スローツーリズム”を楽しむ、鹿島太良らしい、唯一無二のエリアづくりを行う。</p> <p>・肥前鹿島駅エリアは、スローツーリズムのフロントとして整備。駅舎内には「えきやど（宿）」の機能を設ける。駅を拠点に、地元の人が普段使っている飲食店や商店、有明海の全景を巡るローカル鉄道を楽しむ“新たな旅のかたち”を提供することで、地域の価値を向上させ、新たな人の流れの創出や関係人口の拡大を図る。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b></p> <p>○肥前鹿島駅エリアを新たな交流拠点施設として整備 鹿島・太良地域のスローツーリズムの発信・周遊拠点、えきやど旗艦店、飲食・物販、交流スペース</p> <p>○地域全体におけるスローツーリズムのブランディング、受け入れ体制づくり 行政区域にとらわれず、地域全体をパッケージ化して、ブランディングし、各自治体や地域団体等が、連携して、効果的に観光誘客に取り組む仕掛けや体制を構築する。</p> <p>また、地域資源や鉄道を活用して、えきやど（宿）の地域展開や着地型観光商品やグルメなどの観光コンテンツ化を進める。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <p>○鹿島・太良スローツーリズム ブランディング費用38,736千円 ・広域観光戦略策定、地域プロデューサー育成 など</p> <p>○肥前鹿島駅エリア全体プロデュース費用 27,140千円 ・新駅舎ブランド戦略・商品開発、稼ぐ運営体制構築など</p> <p><b>【ハード事業経費】</b></p> <p>○肥前鹿島駅えきやど駅舎（新駅舎）整備費用64,433千円 など</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>・プロジェクトの拠点として、鹿島市内に現地オフィス“K A T A ラボ”を開設。申請自治体の職員が常駐し、地域のプレイヤーと連携し、地域資源の磨き上げを進めている。</p> <p>・肥前鹿島駅舎のえきやど（宿）等は民間事業者グループが運営。民間のアイデアや経営視点により地域資源の高付加価値化と安定的な経営を図る</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①鹿島・太良エリアの観光入込客数（+1,200千人）</p> <p>②沿線えきやどの宿泊者数（+16,990人）</p> <p>③肥前鹿島駅の飲食・物販ゾーンの売上額（+3.3億円）</p> <p>④特産品や旅行商品、イベント（体験ツアー、鉄道ツアー、地域イベントなど）の新規開発（+28件）</p> <p>⑤鹿島市の観光入込者数/鹿島市の鉄道利用者数（+0.1%）</p> <p>⑥肥前鹿島駅前まちなかエリアへの新規出店数、新規イベントの開催回数（+16回）</p>

※佐賀県、鹿島市、太良町の広域連携事業

# 事業概要【スポーツDX・アスリートウェルネス推進プロジェクト】

申請者	佐賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,011,876千円 (326,448千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・アスリートがデータとスポーツ医科学に基いた効果的・効率的なトレーニングや身体管理を行うことで、故障や健康問題に悩むことなく競技人生を送り、活躍し続けられる育成環境を整備する。</p> <p>・アスリートにとって魅力的な育成環境の充実強化を図り、アスリートが活躍することで、本県のスポーツによる地域づくりのプレゼンスが高まり、県外からのアスリートや指導者等の流入、定住促進や県の交流人口増加につなげる。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 大学等と連携し、スポーツ医科学に対する選手・指導者・専門家の関心や重要性の認識、また、知識を向上させる取り組みを医療界・大学・企業などと連携して多角的に展開することにより、スポーツ医科学が普及・定着する「仕組み」を作り上げていき、アスリートが健康的で効果的に競技を続けることが出来る環境を整える。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○フィットネスチェック 22,000千円 ○女性アスリート支援 24,300千円 ○栄養サポート支援 13,000千円 ○スポーツ医科学支援システム構築 19,540千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○OSAGAサンライズパーク医科学支援センター施設整備 ・建物のリノベーション等 247,608千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>スポーツ医科学が普及・定着する「仕組み」を作り上げるため、西九州大学・県医師会・県栄養士会・県内企業等と連携し、スポーツ医科学に対する選手・指導者・専門家の関心や重要性の認識、知識を向上させる取り組みを多角的に展開する。</p>					KPI	<p>①人口の社会減の縮小 (+450人) ②アスリート等の流入者数 (+90人) ③スポーツ医科学支援事業を活用した指導者・アスリート等の数 (+150人)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【SAGAサンライズパークにおける賑わい創出・スポーツの裾野拡大プロジェクト】

申請者	佐賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	352,836千円 (118,564千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>スポーツに親しむ方を増やし、スポーツの裾野を拡大するとともに、子供から大人まで多様な世代が日常的に憩い賑わう交流拠点とすることで、SAGAサンライズパークの交流効果を地域に波及させ、周辺地域の交流人口の拡大と賑わいの創出につなげる。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 普段からサンライズパークを利用される方や家族連れなど誰もが気軽に利用でき、公園のような日常的な憩いの場、にぎわいの場となるとともに気軽にスポーツを楽しむことができるようひろばを整備する。 屋外用バスケットコートや多目的に使用できるスポーツコート等の日常的に憩うことができる外構の整備工事を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 OSAGAサンライズパークにおける賑わい創出・スポーツ体験イベント開催事業 0千円 (※ひろば整備後のR8～9年度に実施)</p> <p>【拠点整備事業経費】 OSAGAサンライズパーク西側ひろば（仮称）の整備 ・ひろば整備費 118,564千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>指定管理者やプロスポーツチームと連携し、ひろばでの利用者の増加や地域住民との関係構築につながるイベントを開催する。 佐賀市と協議しながら、サンライズストリート等のサンライズパーク周辺エリアと一体となった賑わいづくりを行う。</p>					KPI	<p>①SAGAサンライズパーク周辺校区の人口 (+61人)</p> <p>②SAGAサンライズパークの利用者数 (+7,591人)</p> <p>③ひろばでのイベント開催件数 (+4件)</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【地域資源の磨き上げ・文化発信による交流人口創出プロジェクト】

申請者	佐賀県ほか2自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,705,379千円 (1,119,211千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>佐賀が持つ地域資源を磨き上げ、発信・販路開拓等の支援をすることで、交流人口の増加を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化的、歴史的資産が大切に継承されるとともに、人々が多彩な文化芸術活動に触れ、佐賀の地から新たな文化が創造されている。また、それらの本物の魅力や唯一無二の体験が国内外に発信され多くの人々を魅了し、県全体が活気づき、新たな交流が生まれている。</li> <li>人々が地域の歴史や文化、自然、豊かな食、伝統など、唯一無二の素晴らしさに気づき、大きな誇りを感じるとともに、地域住民が、自ら、知恵を出し合いながら、地域資源を磨き上げ、自主的・主体的に取り組む自発的な地域づくりが進んでいる。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○海外市場を主とした販路拡大への取組の強化 120,044千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋島焼の歴史、技法、価値の情報発信</li> <li>・産地事業者の新たな販路開拓として海外進出を支援（海外のバイヤーを産地へ招聘等）</li> <li>・海外進出に意欲のある事業者の商流確立のための支援（テストマーケティング、セミナー開催等）</li> </ul> </li> </ul> <p>等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吉野ヶ里歴史公園周辺エリアへの周遊促進 46,000千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信や地域の食商品とのコラボ企画等のプロモーション活動</li> </ul> </li> </ul> <p>等</p> <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○吉野ヶ里歴史公園の整備 740,000千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>鍋島焼の情報発信、陶磁器産地事業者の海外進出の支援に取り組むために、産地の協同組合等と連携して事業を推進する。</p> <p>吉野ヶ里公園周辺エリアの交流人口拡大を図るため、地元市町との協議会を設立。当協議会と民間企業、地元の商工会等と連携し、会議での意見を反映しながら事業を推進する。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額（+25.2億円）</li> <li>②県産品の輸出額 伊万里・有田焼（+174百万円）</li> <li>③国内外飲食店等との新規取引件数（+30件）</li> <li>④DX認定件数（+9件）</li> <li>⑤博物館施設等の来館者数（+2.1万人）</li> <li>⑥吉野ヶ里歴史公園来訪者数（+24.6万人）</li> </ul>

※佐賀県、神崎市、吉野ヶ里町の広域連携事業

# 事業概要【佐賀県産業振興好循環創出プロジェクト】

申請者	佐賀県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,054,101千円 (645,365千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	
事業分野	ローカルイノベーション分野					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生をはじめとする若者に対して、県内企業における職業体験等により県内企業のすばらしさを伝えるとともに、就業機会の提供等も合わせて行うことで、県内産業を好循環させていくための基盤となる若者の県内への定着及び県内企業への就職の促進を図る</li> <li>人材の育成・確保に向けて、企業人材等へのリスキング支援、身につけたスキルの県内での活用、佐賀型スタートアップ支援による気鋭のスタートアップの育成・創出等の取組により、県内企業等で活躍する人材を育成・確保し、企業活動を強化させ、県内産業の好循環を加速させる。</li> <li>若者等に「佐賀の企業で働きたい」と思ってもらうため、県内の成長産業や特色ある産業等の魅力向上や競争力向上を図り、より魅力的な企業を創出し、産業の活性化と雇用の創出の更なる好循環を構築する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p>【若者に対する県内企業への意識の醸成、定着促進】 153,504千円 県内の小中高高校生に対し、それぞれのフェーズに応じた施策を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生や中学生を対象に、企業の出前講座やワークショップ</li> <li>大学生等を対象に半導体関連企業の工場見学ツアー 等</li> </ul> <p>【県内企業等で活躍する人材の育成・確保】 142,084千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>即戦力DX人材の育成のための講座の開催</li> <li>生成AIを活用した業務変革人材育成セミナーを開催 等</li> </ul> <p>【県内企業の魅力向上・競争力向上推進】 349,777千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業のデザインリテラシーを図るためのセミナーを開催</li> <li>GXモデル企業創出のための伴走支援</li> <li>コスメティック構想を中核に異業種を巻き込んだビジネスコミュニティを形成等</li> </ul>					
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>商工団体、佐賀労働局、大学等と連携し、県内企業の情報発信、人材確保支援、若者の県内定着に取り組む。</p> <p>商工団体、環境省地方環境事務所、市町、金融機関等と連携し、地域ぐるみで中小企業の脱炭素を支援する。</p> <p>コスメティック分野のビジネス環境を産学官の連携により整備する。</p>				KPI	<p>①県内企業における入職者数 (+390人)</p> <p>②県内高校生の県内就職率 (+3%)</p> <p>③県内製造業における付加価値額 (355.88億円)</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【玄海と有明海 さがの2つの海が織りなす新たなにぎわい創出事業】

申請者	佐賀県、伊万里市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	592,191千円 (211,353千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	佐賀県の2つの海がもたらす地域資源を活用し、交流人口の拡大を図ることで、地域の賑わいを創出する。					
事業概要・ 主な経費	<p>①さが玄海の魅力ある海業推進事業 12,000千円 海や漁村の地域資源を活用したコンテンツの掘り起こし、それらの企画化と実証、情報発信・キャンペーンによる推進等を実施する。</p> <p>②佐賀海苔外食機会創出事業 3,000千円 外食メニューでの面的な展開を支援するため、新たな実施店舗の創出や情報発信を行う。</p> <p>③気候変動に対応した漁業改善実証事業 20,902千円 収益性の高い経営構造に改善するためスマート水産業の強化や新たな対策を講じる。</p> <p>④さがリ漁漁況予測高度化事業 41,173千円 気象変動による環境変化に応じた新たな漁漁況予測システムの開発やAI等導入による養殖管理の提案に取り組む。</p> <p>⑤さがの水産資源回復促進事業 86,493千円 海水温上昇の影響等に対応した総合的な漁場環境改善対策を講じる。</p> <p>⑥アウトドアアクティビティ創出事業 23,871千円 マリナクティビティの体験を充実させ、イベント等を開催するとともに、KMAPエリア全体の情報発信を行う。</p> <p>⑦イマリンビーチ・福田マリナー・伊万里ファミリーパーク利活用事業 23,914千円 様々な年齢の方が楽しめる場所となるよう民間事業者に対してサウンディング調査及びトライアルイベントを行う。</p>					
地域の 多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>海業の推進について、地元漁協、漁業者、飲食店、宿泊業者、市町が連携し、実施者目線での海業コンテンツの造成に取り組む。</li> <li>マリナクティビティ創出については、地元の里浜づくり推進協議会と連携して実施することで、唐津の港や海浜の利活用や賑わいづくりを推進する。</li> <li>気候変動対策については、県は大学と連携し、大学が持つ最先端技術の活用や助言により、漁業の現場で役立つ技術の開発に取り組む。</li> <li>水産資源の回復については、地元の漁協や漁業者と連携して取り組むことで、漁業の担い手として、また、将来的な実施主体としての意識の醸成を促す。</li> </ul>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①県内の海に面する市町の人口減少率の改善率 (+15%)</li> <li>②県内漁村での交流人口の増加率 (+15%)</li> <li>③店舗創出件数 (+9件)</li> <li>④玄海、有明海での水産物の水揚げ量または資源量の増加率 (+15%)</li> <li>⑤マリナクティビティ体験者数 (+100人)</li> <li>⑥伊万里市福田地区内公共施設の利用者数 (+3万人)</li> </ul>
※経費内訳はR7年度 事業費						
※カッコ内の数値は 最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値						

# 事業概要【誰もが活躍できるまちづくりプロジェクト

## ～さがらしい、やさしさのカタチ「さがすたいる」の推進～】

申請者	佐賀県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	235,773千円 (81,691千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	年齢や性別、国籍、障害のあるなしといった様々な「ちがい」がある中で、それぞれが尊重しあい、自然に支え合っている。多用な視点を取り入れた、佐賀らしい、やさしさのカタチである「さがすたいる」が広がって、誰もが暮らしやすく活躍できる地域となっている						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>①さがすたいるの想いを広げる 28,112千円 街なかにある店舗や施設のバリアフリー、スタッフのサポート情報など安心して外出できる情報の発信、出前講座、様々な方がしぜんとまざりあうきっかけづくりの交流イベント等を実施</p> <p>②多文化共生社会の推進 35,975千円 日本語研修を実施する外国人受入事業所を支援することにより、県内事業所で働く外国人を増やし、活躍できる環境づくりひいては定着を促す。</p> <p>③障害者の多様な活躍の場づくり 10,077千円 手話や要約筆記の学習機会を提供することで、手話や要約筆記に携わる人材の確保とすそ野を拡大する。障害福祉事業所等と企業のマッチングイベントを開催する。</p> <p>④子ども目線に配慮したまちづくり 7,527千円 モデル地区の点検を実施し、子どもの行動特性を言語化してくれる専門家等の意見を踏まえ、子ども目線を取り入れた点検・対策マニュアル等を作成する。</p>					   	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内の小中高校と連携し、学校の授業内でさがすたいるの想いを広めるための当事者講話や当時者体験を実施する。</p> <p>県内の多文化共生に対するマインド醸成を促進するとともに、働く外国人にやさしい環境づくりを広め、定着を促していく。</p>					KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①人口の社会減（転出超過）の縮小（▲450人）</p> <p>②相談窓口への登録企業数（+170企業）</p> <p>③セミナー・マッチングイベントへの参加企業数（+180企業）</p> <p>④日本語研修を実施する事業所数（+40事業所）</p> <p>⑤さがすたいるの認知度（+9%）</p> <p>⑥子ども目線を取り入れた点検実施箇所数（+6箇所）</p>

# 事業概要【さがそう！佐賀市の「あたりまえハッピー」プロジェクト】

申請者	佐賀県佐賀市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	230,000千円 (79,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	「佐賀には何があるの？」と聞かれたら、「なーんもなかよ・・・」ではなく「なんでんあつよ！」と答えるまちあたりまえハッピー（地元の人にとってはあたりまえすぎて気づけない、このまちのしあわせ）を市全体に浸透させ、市民から観光客へと佐賀市の魅力が伝わる、「ヒト」が原動力となった、佐賀ならではの経済好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 市民への「あたりまえハッピー」の浸透、市政情報への接触機会の向上、観光客の「あたりまえハッピー」の認知機会の促進を相互連携的に展開する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「あたりまえハッピー」プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あたりまえハッピー」プロモーション（委託料）6,000千円</li> <li>・「あたりまえハッピー」認定会議開催（委託料）6,000千円</li> </ul> </li> <li>○バルーンブランド強化プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バルーン係留体験搭乗キャラバン（委託料）7,000千円</li> <li>・バルーンブランド強化プロモーション（委託料）8,000千円</li> </ul> </li> <li>○インナープロモーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政情報デジタル広報推進（委託料）7,000千円</li> <li>・市政情報特集記事等作成（委託料）6,000千円</li> <li>・インナープロモーションプラットフォーム構築（委託料）22,000千円</li> </ul> </li> <li>○価値ある観光体験事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光アンバサダー（委託料）2,000千円</li> <li>・観光カタログ（WEBサイト）制作（委託料）15,000千円</li> </ul> </li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>					<p style="text-align: center;"><b>市民も、観光客もターゲットにした 観光プロモーションへ。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f08080; color: white;">市民には…</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #fff9c4; text-align: center;"> <p>例えば、『佐賀ラーメン』</p> <p>佐賀ラーメンには、生卵トッピング。 やさしいとんこつのおいしさは、 このまちだけのしあわせ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #81c784; color: white;">観光客には…</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p>確かに、佐賀ラーメンは唯一無二。あたりまえすぎて気づかなくなっていただけで、食のしあわせにあふれたまちに住んでいるんだな…</p> <p>外の人に教えてたい！</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;"> <p>なるほど、佐賀ラーメンというのがあって、地元の人にはこうして楽しんでいるのか。</p> <p>佐賀に行って、実際にトッピングして食べてみたい！</p> </div> </div>	
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、商工会議所等、地域内での連携を促進する。</p> <p>道の駅の指定管理者にイベントを開催してもらい、利用者の増加等につなげるとともに、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額（+1,828.20百万円）</li> <li>②佐賀市を観光地として推奨できる市民の割合（+3.50%）</li> <li>③市政情報を入手できている市民の割合（+2.90%）</li> <li>④観光入込客数（+468.09千人）</li> <li>⑤観光カタログ（WEBサイト）閲覧数（+40,000件）</li> <li>⑥「あたりまえハッピー」として発信するトピック数（+36件）</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

# 事業概要【産学官民で佐賀の未来を創る！クリエイティブイノベーター育成による地方創生プロジェクト】

申請者	佐賀県佐賀市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	84,128千円 (28,818千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業のイノベーション創出やスタートアップ創出に向け、20～30代の若者を主な対象として、「課題の発見から解決策の提案まで行えるクリエイティブ人材」の育成を、産学官民連携、地域全体で取り組む。</li> <li>若者のアイデアとスキルの磨き上げ、そしてコミュニティ拡大を掛け合わせることで、クリエイティブな若者の活躍による市内企業の稼ぐ力の強化や地域課題・事業課題の解決による地方創生を目指す。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費	<p><b>【事業概要】</b></p> <p>①想像力・創造力・アントレプレナーシップ（起業家精神）を培う講座、②映像制作、3DCGやWebデザインなどの技術をビジネスマインドとともに学ぶ総合講座、③市内企業と連携しながら実案件に取組む実務ワークショップ（OJT）を中心とする3ステップで、ビジネスでの実践力を重要視したプログラムを実施する。</p> <p>また、市内企業、受講者同士との関係を深める交流会を定期開催する。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <p>○クリエイティブ人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アントレプレナーシップ養成講座（委託料） 3,000千円</li> <li>クリエイティブイノベーター育成講座（委託料） 2,239千円</li> <li>経営者向け新事業創出勉強会（委託料） 4,070千円</li> <li>総合クリエイティブ人材育成講座（委託料） 5,273千円</li> <li>実務ワークショップ（委託料） 7,700千円</li> </ul> <p>○コミュニティ形成、トータルサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発セミナー、年次報告会事業費（謝金、旅費等） 836千円</li> <li>コミュニティ形成、事業全体のトータルサポート（委託料） 5,700千円</li> </ul>				<p>つながることで、可能性は跳ね上がる</p> <h2>CREATIVE LINK SAGA</h2> <p><b>クリエイティブなイノベーション力</b> を身に付ける佐賀市独自の人材育成モデル</p> <p>3つのステップで実践力を磨く！</p> <p>幅広い人脈</p> <p>STEP1 起業家精神・想像力・創造力</p> <p>STEP2 ビジネスマインド・デジタル技術</p> <p>STEP3 実務経験</p> <p>× コミュニティ・ネットワーク</p>	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>産学官民21団体による推進コンソーシアム「CREATIVE LINK SAGA～つながることで、可能性は跳ね上がる～」を発足。</p> <p>学生・社会人・経営者への周知のほか、本事業で創出された新事業や創業等の芽を育てるための出口支援まで連携して行う。</p>				KPI	<p>①新規雇用者数（+20名）</p> <p>②市内での開業・創業件数（+7件）</p> <p>③（黒字化した）新事業創出件数（+6件）</p> <p>④パートナー企業数（+20社）</p> <p>⑤受講者数（+25名）</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

# 事業概要【新唐津曳山展示場（仮称）整備事業】

旧制度（拠点）

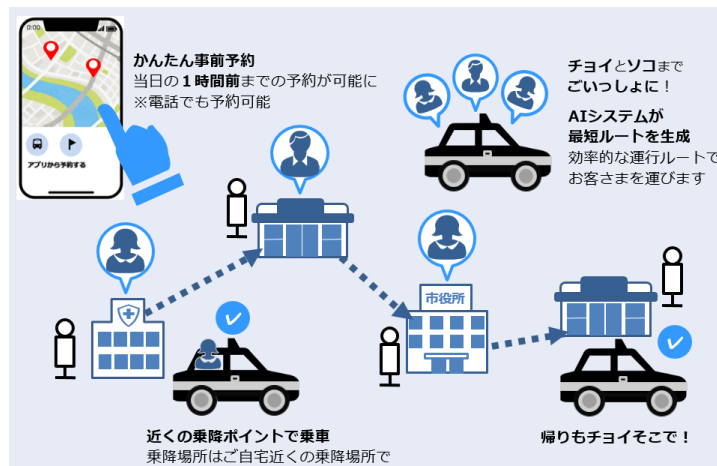
申請者	佐賀県唐津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,000,000千円 (904,900千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	老朽化が著しかった唐津曳山展示場の改築により、ユネスコ無形文化遺産である唐津くんちの曳山を保存・展示するに相応しい新曳山展示場を整備し、デジタル技術を取り入れた効果的でインパクトの高い情報配信を行うことで、新たな唐津の歴史・文化・まちの拠点をつくるもの。		
整備内容・ 利活用方策  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>新曳山展示場は、くんちシアターやくんち体験コーナーなど、デジタル機能を活用しながら現代のニーズに対応する展示手法を採用し、ユネスコ無形文化遺産である唐津くんちの曳山行事を紹介するに相応しい機能を持つ施設として整備するものである。本事業は、新市民会館との合築で、共用部の展示ギャラリーでは、デジタルサイネージを活用し、他の観光文化施設の開館・イベント情報、観光情報の発信することで、市の観光文化の核となる施設である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 804,900千円</li> <li>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【展示制作費】 展示制作費 100,000千円</li> <li>●令和7年度交付対象事業経費 建築工事費、展示制作費 計 904,900千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+501,000千円）</li> <li>②新唐津曳山展示場（仮称）の入場者数（+56,647人）</li> <li>③新唐津曳山展示場（仮称）デジタルスタンプラリーのチェックイン人数（+25,000人）</li> <li>④新唐津曳山展示場（仮称）の入場者におけるくんちシアターと体験コーナーへの入館率（+90%）</li> </ul>	関連URL	

# 事業概要【DXを活用した公共交通の利便性や効率性、持続可能性向上を図る事業】

申請者	佐賀県唐津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	67,751千円 (23,697千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	住民の生活に必要な公共交通機関である路線バス及び乗合タクシーの持続可能な交通体制の確保に努めることで、交通弱者を中心とした人々の生活を支える交通を維持していく。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 住民の生活に必要な公共交通機関である路線バス及びタクシー等の持続可能な交通体制の確保に努めることで、交通弱者を中心とした人々の生活を支える交通を維持していく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活路線バス等運行対策事業</li> <li>・オンデマンドシステムの導入（補助金） 16,027千円</li> <li>・グリーンスローモビリティの導入実証 957千円</li> <li>○タクシー事業者配車アプリ導入支援事業</li> <li>・配車アプリ導入（補助金） 6,713千円</li> </ul>					<p>【オンデマンドシステム運用イメージ】</p>	
地域の多様な 主体の参画	路線バスやタクシーなどの交通事業者と連携し、利便性の向上と持続可能な交通体制を確保するとともに、住民の代表者や商工団体、福祉団体などの関係団体の代表者が参画する交通活性化協議会を通じて、幅広い目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①公共交通の利用者（+2,463人/日）</li> <li>②路線バス1人あたりの財政負担額（▲63.3円）</li> <li>③オンデマンドシステムの登録者数（+900人）</li> <li>④配車アプリを導入したタクシー車両数（+54台）</li> </ul>

※経費内訳はR7年度事業費

## 【オンデマンドシステム運用イメージ】



## KPI

※カッコ内の数値は最  
終事業年度までの  
「KPI増加分の累計」  
の目標値

- ①公共交通の利用者（+2,463人/日）
- ②路線バス1人あたりの財政負担額（▲63.3円）
- ③オンデマンドシステムの登録者数（+900人）
- ④配車アプリを導入したタクシー車両数（+54台）

# 事業概要【スタートアップコミュニティを形成し新たな価値のビジネスを創出する事業】

申請者	佐賀県唐津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	152,333千円 (26,310千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域経済を活性化し、雇用の創出、イノベーションの促進、社会課題の解決をおこなうためスタートアップコミュニティを形成し新たな価値の企業、未来のけん引企業の発掘と育成を図り、人口減少しても生き残るまちづくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 事業を始めたい、始めたばかりの起業家、投資家、アドバイザー等の情報交換・交流の場の設置し、セミナー、ピッチコンテスト等各種イベントを開催する。また、市による会員向け無料ワークスペースの提供や、DX普及・啓発活動、相談業務も行う。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○スタートアップ創出支援事業 ・スタートアップコミュニティ運営業務プロポーザル（報償費）23千円 ・スタートアップコミュニティ運営業務（委託料）25,566千円 ・賃借施設管理負担金（負担金）721千円</p>					<p>【コミュニティスペース運用イメージ】</p> 	<p>【事業者商談イメージ】</p> 
地域の多様な 主体の参画	市内各高校への広報、市と協力協定を結んでいる大学等との共同で事業に取り組み、学生の参画を促す。 金融機関・投資家と連携し、起業家への支援を行うための場を作る。					KPI	<p>①地域における有効求人倍率（月間有効求人数/月間有効求職者数）（+0.03倍） ②スタートアップコミュニティへの参加者数（+60人） ③市の創業支援による創業者数（+72人） ④スタートアップコミュニティで開催するイベントへの参加者数（+800人） ⑤スタートアップ創出支援事業を通じた資金調達件数（+9件） ⑥スタートアップ創出支援事業を契機とした創業者数（+3人）</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【チームかしたら ローカルSDGs推進事業】

旧制度（推進）




申請者	佐賀県鹿島市、佐賀県太良町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	52,864千円（18,764千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローカルSDGsを推進するため、「チームかしたら リビングラボ」を開設し、官民連携したまちづくりを行う。</li> <li>・デジタルを活用した第一次産業の収入増とレジリエンス向上のための事業</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 ローカルSDGsを推進する「チームかしたら リビングラボ」の中で、地元で活躍する企業や団体、教育機関や地元住民が協働・共創しながら新しいビジネスモデルやマーケットを創出し、地域経済および観光経済を活性化させる。取組は大手出版社が都市圏へ情報発信し、外部からの人材や資金の流入を目指す。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○チームかしたら リビングラボ事業【6,200千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口増加のため事業 4,200千円（スローツーリズム・駅のイベント）</li> </ul> </li> <li>○第一次産業の収入増とレジリエンス向上のための事業 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)多良岳と有明海での環境教室【4,000千円】</li> <li>(2)第一次産業発展のための事業【8,564千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多良岳への広葉樹植樹事業 2,900千円</li> <li>・Jクレジット認証・創出事業 3,664千円</li> <li>・観光と第一次産業従事者を呼び込むための事業（旅人とのマッチング）1,000千円 補助金 100千円×10件</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>		
※経費内訳はR7年度事業費	<p>様々な主体が協力し合い、豊かな自然資源を持続可能な形で活用することで、経済・社会への好循環を生み出し、自然環境を維持・回復していくローカルSDGsを実現する。</p> <p>多良岳 木 200年の木木 太良町「森林保全」</p> <p>鹿島市と太良町・地元企業の新たな繋がり</p> <p>チームかしたら リビングラボ 事業の実走 市民・企業・自治体の新たな繋がりをサポート</p> <p>鹿島市「有明海保全」</p> <p>パートナーズ（企業） ・自治体と共同で行う環境保全活動 ・地域資源を活用した商品ブランドの共創 ・新規事業の実証・社会実験を実施</p>		
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>①チームかしたらリビングラボから生まれたローカルSDGs事業（+12事業）</li> <li>②肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーの企業数（+15社）</li> <li>③新事業における新規雇用者数（延べ）（+3人）</li> <li>④太良町有林クレジットの販売の収支（+4,200千円）</li> </ol>	関連URL	<a href="https://www.city.saga-kashima.lg.jp/">https://www.city.saga-kashima.lg.jp/</a>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			



# 事業概要

旧制度（推進）

【「I♥URESHINO」新たな交流拠点の誕生を契機に取り組む未来技術を活かした観光まちづくり事業】

申請者	佐賀県嬉野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	412,578千円（86,600千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度に開業した新幹線駅と道の駅の同時開業を、交流人口の拡大に活用しようと企てる取組み</li> <li>・旅マエの興味喚起や旅ナカの回遊喚起、旅アトの再訪問意向を高めるVR・AR技術を活用したサービスの提供</li> <li>・旅ナカの来訪者の移動を支えるモビリティサービスの提供</li> <li>・サービス利用時に取得したデータを蓄積、新たな観光戦略等への利活用を図るデータプラットフォームの構築</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>①嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルモール・バーチャルモールの構築（16,000千円）</li> <li>・デジタルモール・バーチャルモールのコンテンツ作成（14,500千円）</li> <li>・来訪者と生産者をオンラインで結ぶコミュニケーション環境構築（6,000千円）</li> </ul> <p>②来訪者の移動を支えるモビリティサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前と中心部を結ぶ自動運転サービスの実装（39,100千円）</li> </ul> <p>③5G技術等を活用した各種データの収集・提供（6,000千円）</p> <p>④協議会の運営・支援（5,000千円）</p>		 <p>▲デジタルモールを活用した花火大会のライブ配信とECマルシェ</p>  <p>▲LINE活用イベントの実施</p>  <p>▲夜間需要を検証する実証の実施</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光客数（+40万人）</li> <li>②観光HPアクセス数（+16,000件）</li> <li>③自動運転利用者数（+1,400人）</li> <li>④18～29歳の定住意識（+6%）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.ureshino.lg.jp/s-hisei/keikaku/24664/27940.html">https://www.city.ureshino.lg.jp/s-hisei/keikaku/24664/27940.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【通学路等の交通安全施設整備を中心とした安心・安全なまちづくり事業】

申請者	佐賀県基山町				初回採択回	令和7年度第2回募集		
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,946千円 (22,432千円)		
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	✓	事業分野 人や企業の地方分散	
目的・効果	<p>通学路中の交通安全施設整備、スクアード・ストレート方式による交通安全教室の実施、危険箇所への防犯カメラの設置を行うことで、町全体の交通ルール・マナーの意識向上を図り、車両や歩行者が安全に通行できる安心・安全な町をつくる。さらに、これらの取組を広く紹介する動画を作成することで、町内外へ基山町が安心・安全なまちづくりに取り組んでいることの周知を図り、子育て世帯を始めとした移住人口の増を目指す。</p>							
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 安心・安全なまちづくりを行うため、通学路における直接的な対策として交通安全施設の整備を行い、同時に交通安全の意識向上に資する対策としてスクアード・ストレート方式による交通安全教室を実施する。また、このような安心・安全なまちづくりを紹介する動画を作成し、広く周知する。その他、通学路の安全を見守る対策として、防犯カメラを設置し、町全体の安心・安全を促進する取組を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 交通安全に係る取組についての紹介動画作成及び交通安全意識向上のためのスクアード・ストレート方式による交通安全教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全プロモーション動画作成（委託料） 1,980千円</li> <li>交通安全教室の実施（委託料） 1,443千円</li> <li>防犯カメラの設置（備品購入費） 1,440千円</li> </ul> <p>【インフラ整備事業経費】 交通安全施設の整備（ガードパイプ、ボラード、カラー舗装）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事請負費 17,569千円</li> </ul>				 <p>【路面のカラー舗装】</p>		 <p>【ボラードの設置】</p>	
※経費内訳はR7年度事業費					 <p>【スクアード・ストレート方式による交通安全教室】</p>		 <p>【防犯カメラの設置】</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>基山町安全なまちづくり推進協議会や基山町交通安全指導委員会のほか、警察や報道機関など多方向から見た基山町の安心・安全なまちづくり事業への意見を事業内容へ反映し、より効果的・効率的な取り組みを目指す。</p>				<p><b>KPI</b> (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>★①町内人口 (+150人) ②世帯数 (+345世帯) ③町内の年間交通事故発生件数(-15件)</p>	

# 事業概要【「kiyamaプライド」醸成推進事業】

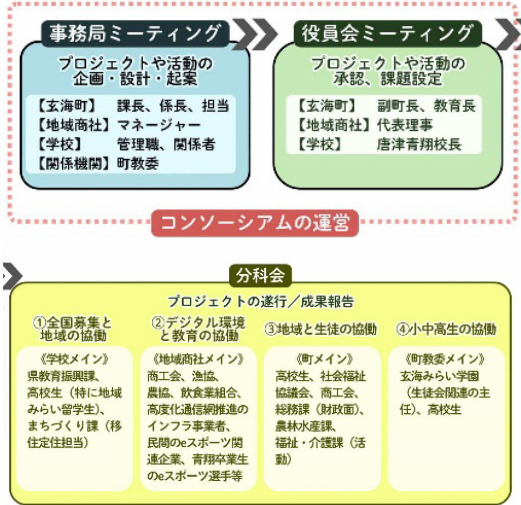
申請者	佐賀県基山町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	133,960千円 (17,700千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内外からの移住・定住ニーズを喚起し、「住みたい」「訪れたい」と思わせる魅力的な地域社会の実現をめざす。</li> <li>本町に関わる全てのステークホルダーのシビックプライド＝「kiyamaプライド」を核とし、多世代共創による持続可能なまちづくりを戦略的に推進することを目的とする。</li> </ul>						
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b>  町内外の企業との雇用マッチングや創業支援を通じて新たな雇用と産業の創出を促進し、若年層や移住者の定住を支援する。福岡都市圏との交通利便性を活かし、季節ごとのイベントに連動したシティプロモーションを展開。子育て世代や若者世代に向け、町の魅力を効果的に発信し、地域間競争力を高める。地域の歴史・自然資源を活用した「基山らしさ」の再発見と発信、プロスポーツ応援事業、SAGA2024国スポレガシー事業を通じて、町民の誇り＝“kiyamaプライド”を育み、持続可能で自立的な地域づくりを推進する。また、街路などの里親制度を推進し、幼少期からの町への愛着と住民の交流機会の創出により、町の魅力度、認知度向上を図る。</p> <p><b>【経費】</b>  ・kiyamaプライド醸成のための認知度向上とずっと住み続けていただくための事業 12,000千円  ・ふるさと基山町を守り継ぐための事業 5,700千円</p>						
地域の多様な主体の参画	観光協会や産業振興協議会と本町の魅力を発信するイベントやシティプロモーションを実施、事業報告会等での改善点を次期に反映 包括的連携協定を締結している大学と町民の健康や地域活性につながるイベントを実施、事業報告会等での改善点を次期に反映 自治会やボランティア団体の事業への参画により、参加者、対象者目線での意見を事業内容へ反映					<b>KPI</b> (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①社会動態による人口増（UIJターン数）（+450人） ②交流人口（+300万人） ③関係人口（+29,384人）



# 事業概要【上峰町CSO活動支援を軸とした多世代交流拠点整備事業】

申請者	佐賀県上峰町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,724,500千円 (80,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的・効果	CSO活動支援を軸とした多世代交流拠点を整備し、そこを軸として地域セクターの多角的な取組みを推進、支援することで人口維持・人口減少の低減と、各種課題（人口減少や少子高齢化、住民ニーズの多様化等）に対応できる柔軟性のある仕組みを構築し、自立して活力ある共助の地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 大型商業施設跡地の再開発事業（上峰町中心市街地活性化事業）の一環として、CSO活動支援拠点や商業テナント、教育施設、こどもや家庭の支援拠点、体育施設、図書館等を一体的に整備し、相互の連携を通じてCSO活動の促進と人口減少時代に対応できる持続可能な地域の体制を構築する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 CSO活動支援を軸とした多世代交流拠点の実施設計 ・実施設設計費 80,000千円</p>						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	LABV方式で中心市街地活性化事業を実施する官民共同開発事業体と連携し効率的な運営を実施するとともに、同者が運営する施設と一体的な運用を実施し、行政においても保健福祉、子育て、防災、教育、文化等の様々な部署と連携することで住民サービスの利便性向上を図る。また、学校法人や商業テナントと連携してCSO活動の多様な取組みを促進する。					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	★①本町の人口（+300人） ②安心して子供を産み育てる環境が整っていると感じている人の割合（+12.5%ポイント） ③本町のCSO活動組織数（+12組織） ④CSOが連携した活動数（+12件） ⑤CSO活動拠点の相談対応件数（+600件） ⑥本施設来場者数（+80,000人）

# 事業概要【地域魅力化推進事業】

申請者	佐賀県玄海町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	11,280千円 (4,230千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>行政と高校と地域による活動を積極的に実施し、関わった人たちがその魅力を町内外に発信、その魅力に気づいた人が新たな関係者となって活動に関わり、その魅力をさらに伝播し、町内外から活動に興味を持つ人が増え、活動の関係者を増やした活動が、新たな魅力となり、高校と地域との活動に関わる人が集い、より暮らしやすい魅力によって移住定住、関係人口の増加による人口維持を目指している。</p>						
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>町・高校・地域商社による地域と教育の魅力化を図るため協働体・コンソーシアムを組織する。コンソーシアムにはコンソーシアム運営マネージャー（見習い）を配置し、事業実施に取り組むが、対話と地域活動を円滑に行うため、コンソーシアムの運営と事業計画の進捗管理など知見を有する事業者から助言や支援を受ける。</p> <p>また、地域活動を活発に行うため、活動に必要な経費の補助を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンソーシアム伴走支援（委託料）3,930千円</li> <li>○ 地域活動支援（補助金）300千円</li> </ul>					 <p>The diagram illustrates the organizational structure of the Consortium. At the top, it shows two types of meetings: '事務局ミーティング' (Secretariat Meeting) and '役員会ミーティング' (Board Meeting). The Secretariat Meeting involves planning and design, with participants from the town, school, and related organizations. The Board Meeting involves approval and topic setting, with participants from the town, school, and local business. Below these is the 'コンソーシアムの運営' (Consortium Operation). At the bottom, the '分科会' (Subcommittee) is detailed, consisting of four groups: 1. National recruitment and regional cooperation (led by the school), 2. Digital environment and education cooperation (led by the local business), 3. Cooperation with students and teachers (led by the town), and 4. Cooperation with middle and high school students (led by the town's school).</p>	
地域の多様な主体の参画	<p>本活動は、地域の魅力づくりを主体としているため、地域住民と高校生が主体となって、活動内容を発案していくことを目指し、その発案に対して、役場・地域商社・唐津青翔高校が協働した検討・協議を行い、活動の実現を図り、地域の魅力を伝える人づくりに取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①15歳～34歳の転入超過数（+13人）</li> <li>②全国生徒募集による県外からの入学者数（+8人）</li> <li>③0歳～15歳の転入超過数（+9人）</li> <li>④高校との取り組みに関わる玄海みらい学園の生徒数（+120人）</li> </ul>